

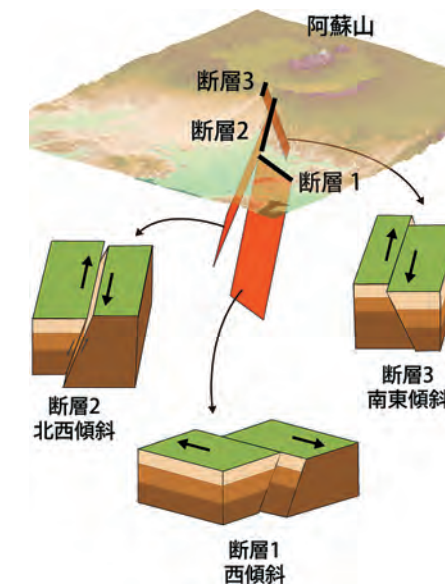
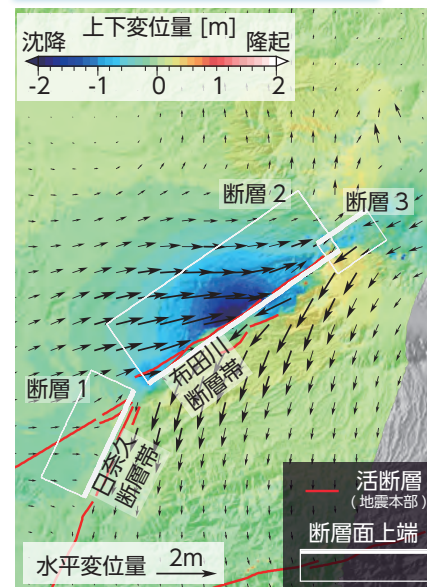
安心して暮らせる豊かな社会を実現します

また、屋内空間の地図を効率的に整備・更新するため、レーザ計測器を背負ってデータを取得しながら地図作成をする方法なども調査研究しています。



地震発生メカニズムの解明

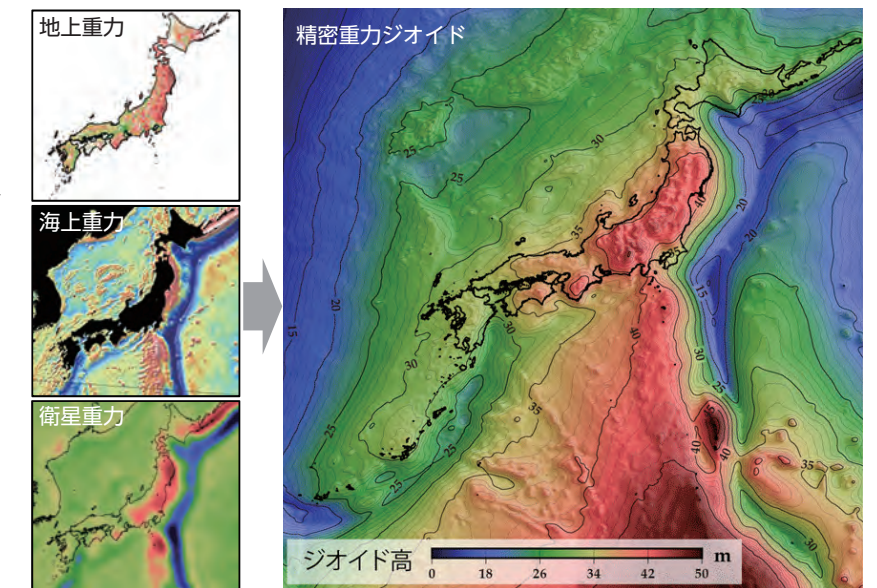
地震発生メカニズムの解明



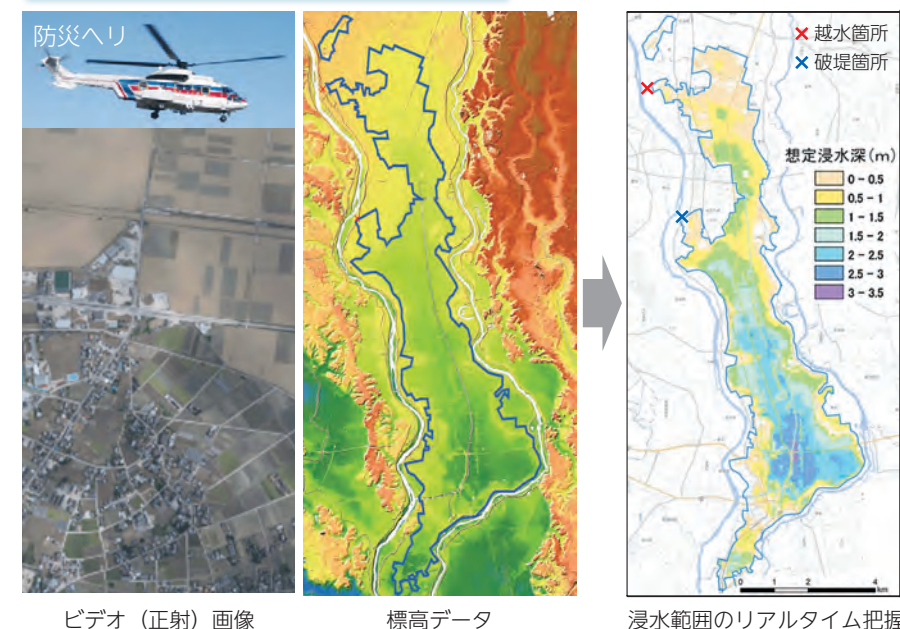
前震では日奈久断層帯の断層(断層1)、本震では、布田川断層帯の2つの断層(断層2、断層3)が動いたと推定されます。

高さ基準系の構築

ジオイドの高さは、地上・海上・衛星で取得した重力データを基に複雑な計算処理を施すことで導出されます。高精度な標高を求めるため、精密なジオイド・モデルの構築に取り組んでいます。



災害状況の効率的な把握手法の開発



洪水による浸水状況の把握を迅速化するために、ヘリコプターのビデオ画像から可能な限り自動的に浸水範囲・浸水面積を計測し、湛水量（洪水により溜まった水の体積）をリアルタイムに推定するシステムの開発に取り組んでいます。